

庄内小だより

令和五年二月二十二日
第九号
豊中市立庄内小学校

閉校記念式典開催



二月十八日に無事「閉校記念式典」を開催することができました。保護者の皆さまにおかれましては、ご出席等でのご理解ご協力ありがとうございました。式典で一旦の区切りを迎えたとはいえ、まだ閉校まで、一か月あまりあります。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

☆式典で挨拶させていただいた内容（抜粋）を載せさせていただきます。←

令和五年三月をもって、庄内小学校は用校となり、長く歴史を刻んだ同じ地で庄内さくら学園として再出発することとなります。この間、一万三千人余りの方々がこの学び舎を築立ち、各方面で活躍しておられます。PTAの方、地域の方と一緒に行った行事、野田小学校と同居、コロナウィルスの感染拡大の影響で翻弄された学校運営、学校行事の削減、庄内さくら学園開校に向けての取り組み及び準備。そして、学校を用いるという大きな節目。本当に怒涛の五年間だったように感じます。しかしながら、そのような状況でも私は、いつもこの庄内小学校が大好きでした。毎日、学校に行くのが楽しみでした。それは、背景に、庄内小学校を支えてくださっている地域の方々、保護者の皆さまがおり、共に手を取り合いながら協力できる同志である教職員がそばにおり、何よりかわいい子どもたちがいたおかげです。運動会や学習発表会などの学校行事でみせてくれた子どもたちのキラキラとした表情とあきらめず最後までチャレンジする真剣な姿は庄内小学校の宝です。地域、PTAの方からは、一緒に行った敬老の集い、公民館文化祭、体育祭、PTA親子カーニバルなどの行事を通してたくさんの方の元気をもらいました。見守り隊の方々、子どもの安全の見守り、門でのあいさつ運動、ありがとうございました。安心安全の学校作りをする上で欠かすことができない存在です。どんなことでも気軽に相談できて、協力体制バッチリの庄内小学校の保護者の皆さま。学校と保護者の距離が近い、うちの保護者は、とてもあたたいです。そして、通常の業務に加えて、庄内さくら学園開校、庄内小学校開校に関わる業務を前向きに遂行しながらも、常に子どもに寄り添い全身全霊をかけて、子どもたちの教育にあたってきた教職員。心から尊敬します。

このように私にとってかけがえのない人たちに支えられながら、学校運営をしてきたことを、今回の用校記念式典開催にあたり改めて実感することができました。自信をもって我々は最高のチームであり、我が庄内小学校は最高の学校といえます。庄内小学校が用校になり、学校どのお別れは、寂しい気持ちでいっぱいですが、今まで、培ってきたこのチームの絆と庄内小学校が築きあげてきた伝統と歴史は、次のステージへと引き継がれ、永遠に皆様の中のものとしていくものと確信しております。令和五年四月に開校される庄内さくら学園は、学校運営協議会を設置したコミュニケーションスクールとして出発します。学校が地域と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子ども達を育み、地域とともにある学校づくりを進めていきます。庄内さくら学園は、「学校、地域、PTAが一体となり子ども達の応援団になる。」この理念のもと学校運営を行っていきます。まさに今までの庄内小学校の学校運営の在り方そのものであり、皆様が作り上げてきた庄内小学校の集大成が庄内さくら学園にあるといえます。どうか、庄内小学校を育てていただいた今まで同様、庄内さくら学園を皆様のお力で最高の学校に育ててください。

